２０２６年10月19日
第70号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人　椀田優一
編　集　情宣担当
ホームページ
http://www.jreu-yokohama1.jp/

横地申第２号　南武線と鶴見線乗務業務の一元化に関する解明申し入れ　団体交渉を行う！③

8. 出勤箇所について、中原乗務を主とされているが、現・鶴見乗務全社員も対象なのか明らかにすること。
【会社回答】現時点では、主たる出勤箇所は中原乗務とすることで考えており、必要な周知は実施していく。

組　合	会　社
回答にある「現時点」とはどういうことか。	一元化の中で、乗務業務は中原が主として担っていく。総合的に検討していく。
主たるロッカーはどこになるのか。	指導員含めて中原乗務が主たるロッカーとなる。
交番勤務により出勤箇所が都度変わることはあるのか。	現段階で確定したことは申し上げられない。

9. 乗務員の主な出勤箇所は中原乗務とされているが、退勤箇所を明らかにすること。
【会社回答】現時点では、主たる退勤箇所は中原乗務とすることで考えており、必要な周知は実施していく。

組　合	会　社
退勤箇所も中原乗務なのか。	中原乗務で考えている。
交番勤務により退勤箇所が変わることはあるのか。	乗務での出退勤は中原乗務で考えている。出勤と退勤はロッカーや貸与品もあり、揃えるべきと考えている。

10. 2026年9月から、中原乗務の乗務員が南武支線の線見を行うとされているが、なぜ別枠で行うのか明らかにすること。
【会社回答】南武線（尻手・浜川崎間）の乗務に向けた教育・訓練を実施し、十分な習熟期間を確保するとともに、乗務員が新たな線区の知識・技能を習得できるよう段階的に進めていく考えである。

組　合	会　社
南武支線は南武線交番に組み入れることを考えているのか。	**将来的に1交番化を目指す中で可能性はある。**
回答にある「十分な習熟期間」とはどういうことか。具体的な見習い回数を示すこと。	指導の内規に基づき3ヶ月程度である。終わりは決めていない。個人の状況に応じて延長することもある。減らすことはしない。不安な人をそのままにはしない。
3ヶ月ということだが、敢えて支線だけ別枠なのはどういうことか。	十分な習熟期間をとるためである。一気に行うより、少しずつ進めていく考えである。
南武支線（尻手～浜川崎間）の乗務は中原に移管するのか。	個人によって乗れる交番が増える形をとっていく。

11. 2026年9月から行われる中原乗務の乗務員による南武支線の線見スケジュールを具体的に明らかにすること。
【会社回答】中原乗務の乗務員による南武線（尻手・浜川崎間）の教育・訓練については、社員が十分な習熟期間を確保できるよう進めているところである。

組　合	会　社
具体的なスケジュールを示すこと。	9月に205系、10月にE127系の現車訓練を行い、複数回のハンドル訓練を実施する。
車両訓練、出区点検、応急処置全て行うのか。	全て行うことを考えている。妥協はしない。別枠か線見期間なのかはあるが、仕組みは変えない。
反復訓練は必要である。年代により覚え方も異なる。	計画の中で補完・フォローは実施していく。最終的にはシミュレータも移設する。

次号④に続く